

三船優子 piano × drums 堀越 彰

OBSESSION

クラシックピアノとドラムによる最小にして最大のオーケストラ

10th Anniversary
in 沖縄 2Days

ムソルグスキー「展覧会の絵」

2024.12.20.Friday Open 18:30 / Start 19:00

Place 那覇文化芸術劇場なはーと小劇場 (沖縄県那覇市久茂地 3-26-27)
なはーと公式 HP <https://www.nahart.jp>

Charg 一般 ¥3,000 / 学生 ¥1,500

チケット販売 / ご予約 島ピアノセンター 098-933-5932 info@shimapiano.com

2024.12.22.Sunday Open 13:30 / Start 14:00

Guest ジョージ紫 [Hammond Organ]

Place 沖縄市民小劇場あしびなー (沖縄市中央2丁目 28-1 雇用促進等施設 3F)

Charg 一般 ¥3,000 / 学生 ¥1,500

チケット販売 / ご予約 沖縄市民小劇場あしびなー 098-934-8487 <https://koza-ashibina.com>

普久原楽器 098-938-9375

照屋楽器店 098-937-3162

島ピアノセンター 098-933-5932

主催 まちづくり NPO コザまち社中

三船優子 piano X drums 堀越 彰

OBSESSION in 沖縄 2Days

クラシックピアノとドラムによる最小にして最大のオーケストラ

10th Anniversary

三船優子・堀越 彰両氏の「OBSESSION」という CD が送られてきて、すぐ聴き、感動して三船さんにメールをしたのは 2020 年の春だったか…。クラシック音楽には不文律があり、音符はもとより楽器編成や楽曲構成は変更しない、というか、できない。その枠を見事に破り去り、新しい光を降り注いだ。まさに obsession= 執念。音楽が真に音楽として生き、主張する—クラシック界の通念にとらわれているわけにはいかない、というイデーが貫徹されている。第一級の力を持った音楽家だけが成しうること。それをナマで聴ける！まさに稀有な機会である。

作曲家 池辺晋一郎



三船優子 YUKO MIFUNE [piano]

幼少期をNYで過ごし、市原光子、ジェローム・ローエンタールに師事。帰国後、井口秋子、奥村洋子、安川加寿子に師事。桐朋学園大学在学中、第57回日本音楽コンクール第1位。同大学を首席卒業後、文化庁派遣研修員としてジュリアード音楽院へ留学、マーティン・キャンニンに師事。91年にアメリカデビューを果たし、L.A. Times にて絶賛、クラシックラジオ局 WQXR にて全米放送、高評を得る。同年フリーナ・アワーバック国際ピアノコンクール、ジュリアードソリストオーディションで優勝、卒業記念コンサートをソリストとして飾る。帰国後は、リサイタルはもとより国内外の主要オーケストラとも共演を重ねる。モスクワ交響楽団、サンクト＝ペテルブルク交響楽団、パリ・ギャルド・レピュブリケーヌ吹奏楽団等との日本ツアーをはじめ、内外数々の主要オーケストラと共演。ラジオのパーソナリティ、また6年間に亘りNHK-BS「週刊ブックレビュー」の司会を務めるなど、メディアでも活躍。これまでにアルバムも多数発表、いずれも特選盤となる。ピアノ教則本の監修をはじめ、幼児教育にも録音やワークショップ等で積極的に活動。異ジャンルのアーティストとのコラボレーションも多数行なう。バロックから現代作品まで幅広いレパートリーをもち、シャープなタッチからは、気品と色彩感にあふれた音色が放たれる。華のあるダイナミックな演奏で聴衆を魅了しつづける、日本を代表するピアニストのひとりである。京都市立芸術大学教授。

HP: yukomifune.com

堀越 彰 AKIRA HORIKOSHI [drums]

海老沢一博氏、村上“ポンタ”秀一氏に師事。'90年、オーディションを経て「山下洋輔ニュートリオ」でデビュー。国内を始め、ヨーロッパツアー、南米ツアー、ベルギー野外コンサート、日本全国縦断88ヶ所サバイバルツアー等に参加。その後「山下洋輔デュオプラス」としても、十年に及びレギュラーユニットとして活動。ジャズのみならず邦楽、民俗音楽とのセッションなど、幅広いジャンルにおいて国内外で活躍。30カ国以上の海外公演を経験する。同時にイベント構成・演出も手がけ、楽曲提供も行なう。'12年尺八奏者小濱明人と「LOTUS POSITION」結成。山下洋輔をゲストに迎え、国際交流基金主催でチェコ・スロヴァキア四都市ツアーを成功させ、アルバムもリリース。深町 純 pf、渡辺 剛 vl と共に「The WILL」、薩摩琵琶や能管尺八と組んだ「東方異聞」、シルク・ドゥ・ソレイユで活躍したパフォーマー フィリップ・エマルラと組む「INSTINCT」なども主宰。デヴィッド・ルヴォー演出舞台『ETERNAL CHIKAMATSU』『黒蜥蜴』『道』2024年の春は香取慎吾主演『テラヤマキャバレー』の音楽メンバーとして連続参加。子供たちに生の音楽を届けるワークショップ、アウトリーチ活動にも積極的に取り組む。都内に2カ所のドラムスクールのほか、日本工学院でも教える。Canopus エンドーサー。HP: akirahorikoshi.com



[Guest] ジョージ紫 George Murasaki [Hammond Organ]

UCLA で数学を専攻、音楽を副専攻に、ピアノ、パイプオルガン、声楽を学ぶ。ベトナム戦争当時の混沌としたアメリカ社会に於ける独特な音楽・芸術文化に触れ、ロック音楽に目覚め、帰国後ロックバンド「紫」を1970年に結成、メジャーデビューの1975年から全国にオキナワ・ロック旋風を巻き起こす。バンドは、音楽誌ミュージック・ライフ人気投票の国内グループ部門で第一位(1977年)、自らも国内キーボーディスト部門で第一位(1978年)に選ばれる。バンドは1978年解散後、1983年再結成し、自ら名付けた紫単独の「ピースフル・ラブ・ロック・コンサート」を開催、現在も「ピースフル・ラブ・ロック・フェスティバル」として沖縄の夏の風物詩になって続けている。2009年以降、オリジナルメンバー4人が残る新生紫として活動。個人としてもロック、クラシック、琉球音楽の融合をテーマに精力的に活動中。

2012年に第10回宮良長包音楽賞特別賞受賞。

最近の主なリリース作品: PURPLESSENCE (2010年、Hydrant Records) / EYES WIDE OPEN (2012年、自主制作)

QUASAR (2016年、WOWOW Entertainment)



三船優子 piano X drums 堀越 彰

OBSESSION

好評発売中

発売・販売元: (株)オクタヴィア・レコード

